



2018年度日本水文科学会総会 次第

日時：2018年10月13日(土) 16時30分～17時30分

場所：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

総合地球環境学研究所

報告事項

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 2017年度事業報告 | (資料1) |
| (2) 2017年度決算報告 | (資料2) |
| (3) 2017年度会計監査報告 | (資料3) |

審議事項

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 2018年度事業計画 | (資料4) |
| (2) 2018年度予算案 | (資料5) |
| (3) 名誉会員候補者について | (資料6) |

その他

- | | |
|-----------------------|-------|
| (1) 学会誌過去巻号の追加公開 | |
| (2) 学会誌掲載論文の著作権譲渡のお願い | (資料7) |
| (3) 長期未利用口座の出現について | |
| (4) その他 | |

資料1 2017年度事業報告

A 庶務委員会

(1) 会員管理【国際文献社委託事務】

(2018年3月31日現在)

年度末	名誉会員	正会員			学生	小計	賛助会員	購読会員
		一般	シニア	永年				
2017年度 (Web会員内数)	10名	169名 (44名)	14名 (3名)	2名	12名 (10名)	206名	3機関	6機関※

※書店卸：取引6件（部数合計12部）、寄贈6件、広告1件：準会員1名

(2) 会誌・その他の連絡物の発送【国際文献社委託事務】

発送回数	発送先	発送内容	発送年月日
第1回	一斉発送	学会誌47(1)	2017年5月1日
第2回	一斉発送	学会誌47(2)	2017年9月14日
第3回	一斉発送	学会誌47(3)	2018年1月18日

(3) バックナンバーの管理・販売

年度	販売件数	販売冊数	販売金額
2017	0件	0冊	0円

(水文科学会誌 0冊, 0円)

(4) 事務業務の一部外部委託

契約・委託先・委託期間	委託内容
(株)国際文献社：	庶務事務・会計事務の一部
さくらのレンタルサーバスタンダード	学会ホームページ学会メールアドレス・メーリングリスト等

(5) その他

・過去の日本水文科学会誌（27(1)–36(4)：1997–2006年）分をJ-Stageに公開するための準備作業を開始した。

B 会計委員会

(1) 会費の徴収

(2) 会務に伴う出納処理

・各種請求書類の発行

(3) 会費納入率の向上への取り組み

・会費未納者あてに督促状を送付

(4) その他

会計業務の一部外部委託（国際文献社）

会誌発行数変更に伴う煩雑な購読&書店会員への請求

C 編集委員会

(1) 会誌の発行

巻	号	発行年月日	掲載数	
47	1	2017年4月28日 (48ページ)	7	巻頭言×1, 研究ノート×1, 企画×2, 報告×2, 学会記事×1
47	2	2017年8月28日 (96ページ)	13	論文×1, 研究ノート×1, 特集序文×1, 特集論文×4, 特集総説×1, 企画×3, 報告×1, 書評×1
47	3	2017年12月28日 (61ページ)	6	総説×1, 企画×4, 学会記事×1

*掲載数には、巻頭言、総説、論文、研究ノート、資料、企画、討論、講演再録、報告、書評・紹介、学会記事、その他を含む。

(2) 投稿受付・査読審査状況：2017年度：投稿4, 掲載1, 査読中2, リジェクト1

*特集号原稿を除く

(3) 水文科学会誌オンライン公開 2017年度 Vol. 47. No. 1~Vol. 47. No. 3

(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahs/-char/ja/>)

D 集会委員会

(1) 総会の開催

2017年9月30日(土)16時30分~17時30分(駒澤大学)

(2) 設立30周年記念学術大会の開催

2017年9月30日(土)~10月1日(日)(駒澤大学) 合計95名(名誉会員5名, 一般会員44名, 学生会員5名, 招待講演者2名, その他39名(非会員6名, 展示企業関係者4名, 一般聴講者6名, 中高生・引率教員23名))

(3) 設立30周年記念公開シンポジウム「持続可能な未来地球に貢献する水文学のあり方を考える一次世代の水文学が取り組むべき課題とは一」および設立30周年記念公開レビューポスター「周辺学術分野および技術発展と水文科学」の開催

(4) 一般公開企画“身近な「水環境」”の開催

(5) 学術大会における優秀発表賞の選考及び表彰

2017年度優秀発表賞(口頭発表:築場大将(北海道大)「融雪期における土壌乾湿状態の変動と河川流出の関係」, ポスター発表:友澤裕介(広島大)「琵琶湖芦川上流域における水素・酸素安定同位体比分布について」)

(6) 学術大会発表申込・要旨原稿投稿のweb受付の継続と改良(2008年度大会より)

(7) 企業広告および企業展示の受付窓口業務の担当, 専用銀行口座の開設(2018年度大会より運用予定)

(8) 次年度大会の会場候補との交渉

E 企画・広報委員会

(1) 研究ワーキンググループ

・水文科学のためのSWATモデル高度化に関するワーキンググループの設置
代表研究者 清水裕太(農研機構)

(2) 地球惑星科学連合大会での水循環セッション(A-HW34)

4学会に加え, Water cycle characterization with numerical modelling and isotope tracer techniques

と共同：代表コンピナー：地下水学会・林武司（秋田大）、Gusyev Maksym（土木研）、長尾誠也（地球化学会・金沢大）、町田 功（水文科学会・産総研）、飯田真一（水文・水資源学会・森林総研）

(3) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦（任期：～2018.4.30）

・代表者	（会長）	嶋田 純
・事務局	（庶務委員長）	杉田 文
・連絡委員	（企画委員長）	町田 功
・環境・災害対応委員会	（学会推薦）	林 武司
・教育検討委員	（学会推薦）	上村剛史
・プログラム委員会	（学会推薦）	町田 功
・新ジャーナル編集委員会	（学会推薦）	杉田 文

(4) CPDポイントの取得に関する整備

- ・水文科学会会員向けCPD登録に関する周知
- ・CPDポイント発行の継続（4名（2016）、4名（2017））
- ・年間登録料 6万円

(5) 学会ホームページ

- ・ウェブページの更新（随時）
- ・編集委員会のページのリニューアル
- ・第二回水文誌ミニ巡検の記事
- ・トップページの写真は半年に一度更新
- ・迅速なウェブへのアップ体制の維持（即日～翌日対応）
- ・アクセス数（2015年カウント開始、2016年8月：2200、2017年4月12日：10000、9月21日：13500、2018年5月1日：17900）

(6) 水文誌ミニ巡検

（2017年3月8日 第1回「讃岐平野・香東川流域の水文誌と水のエコミュージアム」開催：新見 治、嶋田 純）

- ・2018年3月8日 第2回「箱根」開催：大山正雄、嶋田 純

(7) 初学者セミナー「はじめてのタンクモデル」開催：町田 功、井川怜欧

20名以上参加。アンケート19名 17名が「継続した方が良い」

(8) その他（庶務との連携）

- ・会員専用ページ（マイページ）：会告・学会記事等PDF
- ・早期公開論文継続（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahs/>）

F 学会賞選考委員会

a) 研究奨励賞

井手 淨 会員（熊本大学大学院・自然科学研究科）

b) 学術賞

対象者なし

c) 功績賞

対象者なし

G 名誉会員候補者推薦委員会

- ・田中 正 会員および横山尚秀 会員について審議の上、推薦することを常任委員会に答申した。

資料2

2017年度収支計算書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

I. 収入の部

勘定科目		当年度予算額 A	収入済額 B	差 B-A	備考
大科目	小科目				
会費収入	正会員（一般）会費	¥ 1,064,000	¥ 1,016,000	¥ - 48,000	会費¥8,000※111 127名送付
	正会員（一般web）会費	¥ 152,000	¥ 163,000	¥ 11,000	会費¥4,000※39 39名送付
	正会員（シニア）会費	¥ 36,000	¥ 32,000	¥ - 4,000	会費¥4,000※8 7名送付
	正会員（永年）会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥50,000
	正会員（永年web）会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥20,000
	学生会費	¥ 7,000	¥ 27,000	¥ 20,000	会費¥1,000※15 7名送付
	準会員会費	¥ 1,000	¥ 2,000	¥ 1,000	会費¥1,000※1 1名送付
	購読会員会費（書店販売含む）	¥ 156,000	¥ 148,500	¥ - 7,500	購読¥14,000*5（書店¥12,000*7）
	賛助会員会費	¥ 80,000	¥ 200,000	¥ 120,000	一口¥20,000 3社
小計		¥ 1,496,000	¥ 1,588,500	¥ 92,500	
大会収入	大会収入	¥ 190,000	¥ -	¥ - 190,000	大会決算書に基づき、 181,347円は次年度に入金
雑収入	利息収入	¥ 500	¥ 30	¥ - 470	
	学会データベース	¥ 20,000	¥ 37,676	¥ 17,676	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥ 2,000	¥ 13,960	¥ 11,960	
	広告ほか	¥ 100,000	¥ 106,396	¥ 6,396	広告料、別刷りなど
	寄付金	¥ -	¥ 376,935	¥ 376,935	長期未利用口座の出現
小計		¥ 122,500	¥ 534,997	¥ 412,497	
科目計		¥ 1,808,500	¥ 2,123,497	¥ 314,997	
前期繰越収支差額		¥ 4,452,458	¥ 4,452,458	¥ -	
合計		¥ 6,260,958	¥ 6,575,955	¥ 314,997	

Ⅱ. 支出の部

勘定科目		当年度予算額	支出済額	残額	備考
大科目	小科目	A	B	A - B	
大会支出	大会補助	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ —	規定額
	大会追加補助	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ —	
	プログラム, ポスター, 要旨集印刷費	¥ 110,000	¥ 118,800	¥ - 8,800	要旨集等印刷代
	総会・シンポジウム	¥ —	¥ —	¥ —	
	人件費	¥ —	¥ —	¥ —	
	通信運搬費	¥ —	¥ —	¥ —	
	交通費	¥ 30,000	¥ —	¥ 30,000	非会員講演交通費
小計		¥ 340,000	¥ 318,800	¥ 21,200	
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 1,050,000	¥ 1,239,472	¥ - 189,472	47巻1-3号 (3冊), 編集業務
	通信運搬費	¥ 77,250	¥ 68,890	¥ 8,360	会誌送料
	人件費	¥ —	¥ —	¥ —	
	交通費	¥ —	¥ —	¥ —	
	会議費	¥ 16,000	¥ —	¥ 16,000	
	消耗品費	¥ 3,000	¥ —	¥ 3,000	
小計		¥ 1,146,250	¥ 1,308,362	¥ - 162,112	
管理費	印刷費	¥ 20,000	¥ —	¥ 20,000	学会封筒印刷等
	通信運搬費	¥ 60,000	¥ 58,171	¥ 1,829	送料, レンタルサーバー
	消耗品費	¥ 2,000	¥ —	¥ 2,000	
	会議費	¥ 16,000	¥ 8,640	¥ 7,360	会議室料 (常任委員会)
	交通費	¥ 70,000	¥ 44,760	¥ 25,240	交通費 (会計委員会)
	業務委託費	¥ 560,000	¥ 422,832	¥ 137,168	
	雑費	¥ 5,000	¥ 4,434	¥ 566	振込手数料
小計		¥ 733,000	¥ 538,837	¥ 194,163	
選挙費	選挙実行経費	¥ —	¥ —	¥ —	
	名簿作成	¥ —	¥ —	¥ —	
小計		¥ —	¥ —	¥ —	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 100,000	¥ 29,969	¥ 70,031	
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ —	
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ —	
	ジオスクリーニングネット運営費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ —	
	表彰費	¥ 20,000	¥ 46,324	¥ - 26,324	記念品代
小計		¥ 290,000	¥ 246,293	¥ 43,707	
科目計		¥ 2,509,250	¥ 2,412,292	¥ 96,958	
次年度繰越金		¥ 3,751,708	¥ 4,163,663	¥ - 411,955	
合計		¥ 6,260,958	¥ 6,575,955	¥ - 314,997	

2017年度貸借対照表

2018年3月31日時点

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
預金		未払金	
ジャパンネット銀行	¥ 2,328,649		
ゆうちょ銀行	¥ 1,830,895	負債合計	¥ —
現金	¥ 4,119	III 正味財産の部	
		前期繰越正味財産	¥ 4,452,458
		当期正味財産増加額	¥ - 288,795
		正味財産合計	¥ 4,163,663
資産合計	¥ 4,163,663	負債及び正味財産合計	¥ 4,163,663

平成 30 年 9 月 21 日

日本水文科学会 会長 殿

日本水文科学会

平成 29 年度会計監査委員

杉田倫明



会計監査報告書

監査委員は、監査証明を行うため日本水文科学会平成 29 年度の会計報告に関する収支計算書、帳簿等を監査しました。


監査の結果、収支計算書は平成 30 年 3 月 31 日現在の収支状況を適正に表示しているものと認めました。その他の監査意見は以下の通りです。

1. 平成 29 年度においても、学会の正味財産は昨年度から引き続き減少している。減少額は、昨年度より増加した。特に、平成 29 年度の特事情（寄付、大会収入の次年度送り）を考慮すると、本来の減少額は決して小さくはない。赤字状態で運営を持続的に続けることは不可能なので、早急に対応策を決め、総会や学会誌において般会員向けに説明し、実行に移す必要があると思われる。

平成 30 年 8 月 6 日

日本水文科学会 会長 殿

日本水文科学会
平成 29 年度会計監査委員

志田 誠 

会計監査報告書

監査委員は、監査証明を行うため日本水文科学会平成 29 年度の会計報告に関する収支計算書、帳簿等を監査しました。

監査の結果、平成 30 年 3 月 31 日現在の収支状況を適正に表示しているものと認めました。

資料4 2018年度事業計画

A 庶務委員会

- (1) バックナンバーの管理・販売
- (2) 学会メーリングリストの管理
- (3) 会員名簿の管理【国際文献社委託事務】

【契約項目】

契約・委託先	委託内容	期間
(株)国際文献社	庶務事務・会計事務の一部	2018.04.01～2019.03.31
さくらのレンタルサーバスタンダード	学会ホームページ開設	2018.04.01～2019.03.31

- (4) 過去の日本水文科学会誌 (27(1)–36(4): 1997–2006年) 分をJ-Stageに公開する
- (5) 学会案内パンフレットの更新

B 会計委員会

- (1) 会費の徴収 (8月)
- (2) 会務に伴う出納処理
- (3) 会費未納者への督促 (12月)

C 編集委員会

- (1) 会誌の発行：第48巻1号から第48巻3号 (3冊)
- (2) HRL運営委員会への委員派遣 林 武司

D 集会委員会

- (1) 総会の開催
2018年10月13日(土)16:30～17:30 (総合地球環境学研究所)
- (2) 学術大会の開催
2018年10月13日(土)～10月14日(日) (総合地球環境学研究所)
- (3) 一般公開企画“身近な「水環境」”の開催
- (4) 学術大会における優秀発表賞の選考および表彰
- (5) 事前参加登録および入金制度の構築 (大会実行委員会と協力)、学術大会発表申込・要旨原稿投稿のweb受付の継続と改良 (2008年度大会より)
- (6) 企業広告および企業展示の受付窓口業務の実施、大会実行委員会の補助
- (7) 次年度大会の会場候補との交渉

E 企画・広報委員会

- (1) 研究ワーキンググループ 募集中
- (2) 災害時緊急調査補助金 募集中
- (3) 地球惑星科学連合大会での「水循環・水環境」セッション (EE) 担当 (A-HW22)
代表コンピーナ：長尾誠也 (地球化学会・金沢大)、林 武司 (地下水学会・秋田大)、飯田真一 (水

文・水資源学会・森林総研), 町田 功 (水文科学会・産総研)

(4) 地球惑星科学連合大会での共催セッション

- ・ A-CG42 沿岸海洋生態系—1. 水循環と陸海相互作用 (杉本 亮)
- ・ A-HW20 流域の物質輸送と栄養塩循環—人間活動および気候変動の影響— (齋藤光代)
- ・ A-HW23 流域の地下水・地表水における滞留時間と水・物質循環プロセス (辻村真貴)
- ・ A-HW24 熊本地震に伴う地表水と地下水の変化 (嶋田 純)

(5) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦 (～2020.4.30)

- | | | |
|-------------|---------|------|
| ・代表者 | (会長) | 嶋田 純 |
| ・事務局 | (庶務委員長) | 杉田 文 |
| ・連絡委員 | (企画委員長) | 町田 功 |
| ・環境・災害対応委員会 | (学会推薦) | 林 武司 |
| ・教育検討委員 | (学会推薦) | 上村剛史 |
| ・プログラム委員会 | (学会推薦) | 町田 功 |

(6) CPD ポイント

- ・ 秋季講演会にて CPD ポイント発行
- ・ CPD の継続について (調査中)

(7) 学会ホームページの更新

- ・ 迅速なアップの体制の維持

(8) 第3回 水文誌ミニ巡検「千年の都・京都の水を巡る—都市と水文化—」

2018年10月12日(金)9:30～16:30 鈴木康久(京産大) 藪崎志穂(地球研)

(9) 初学者向けセミナー「地下水はなぜ“きれい”なのか」

2018年10月14日(日)12:00～13:00: 町田 功・井川怜欧(産総研)

(10) その他(庶務との連携)

- ・ マイページでの早期論文, WEB 会員用への会告・学会記事等の PDF のアップなど

F 学会賞選考委員会

- (1) 学会賞選考委員会・委員の改選
- (2) 学術賞の選考
- (3) 研究奨励賞の選考
- (4) 功績賞の選考

G 名誉会員候補者推薦委員会

- (1) 委員会を立ち上げ, 名誉会員候補者の審議推薦を行う

H 選挙管理委員会

- (1) 2019–2021 年度会長および評議員の選挙事務運営を行う

資料5

2018年度予算書(案)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

I. 収入の部

勘定科目		当年度予算額 A	前年度予算額 B	差 A-B	備考
大科目	小科目				
会費収入	正会員（一般）会費	¥1,000,000	¥1,064,000	¥-64,000	会費¥8,000 *125名分
	正会員（一般web）会費	¥176,000	¥152,000	¥24,000	会費¥4,000 *44名分
	正会員（シニア）会費	¥56,000	¥36,000	¥20,000	会費¥4,000 *14名分
	正会員（永年）会費	¥—	¥—	¥—	会費¥50,000
	正会員（永年web）会費	¥—	¥—	¥—	会費¥20,000
	学生会費	¥12,000	¥7,000	¥5,000	会費¥1,000 *12名分
	準会員会費	¥1,000	¥1,000	¥—	会費¥1,000 *1名分
	購読会員会費（書店販売含む）	¥156,000	¥156,000	¥—	購読¥14,000*6（書店¥12,000*6）
	賛助会員会費	¥140,000	¥80,000	¥60,000	一口¥20,000 *4
小計		¥1,541,000	¥1,496,000	¥45,000	
大会収入	大会収入	¥371,347	¥190,000	¥181,347	企業展示、要旨集売上など （駒沢大会未入金分を含む）
雑収入	利息収入	¥500	¥500	¥—	
	学会データベース	¥20,000	¥20,000	¥—	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥2,000	¥2,000	¥—	
	広告ほか	¥100,000	¥100,000	¥—	広告、別刷など
	寄付金	¥—	¥—	¥—	
小計		¥122,500	¥122,500	¥—	
科目計		¥2,034,847	¥1,808,500	¥226,347	
前期繰越収支差額		¥4,163,663	¥4,452,458	¥-288,795	
合計		¥6,198,510	¥6,260,958	¥-62,448	

Ⅱ. 支出の部

勘定科目		当年度予算額 A	前年度予算額 B	差 A - B	備考
大科目	小科目				
大会支出	大会補助	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	規定額
	大会追加補助	¥ -	¥ 100,000	¥ - 100,000	
	プログラム、ポスター、要旨集印刷費	¥ 110,000	¥ 110,000	¥ -	
	交通費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ -	非会員講演旅費
	小計	¥ 240,000	¥ 340,000	¥ - 100,000	
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 1,200,000	¥ 1,050,000	¥ 150,000	年3冊、編集業務
	通信運搬費	¥ 70,000	¥ 77,250	¥ - 7,250	会誌送料等
	会議費	¥ 10,000	¥ 16,000	¥ - 6,000	編集委員会（会議室料）
	消耗品費	¥ 3,000	¥ 3,000	¥ -	編集用消耗品
	小計	¥ 1,283,000	¥ 1,146,250	¥ 136,750	
管理費	印刷費	¥ 10,000	¥ 20,000	¥ - 10,000	学会封筒、総会通知等
	通信運搬費	¥ 50,000	¥ 60,000	¥ - 10,000	送料、レンタルサーバー
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ -	
	会議費	¥ 10,000	¥ 16,000	¥ - 6,000	委員会（会議室料）
	交通費	¥ 50,000	¥ 70,000	¥ - 20,000	委員会旅費
	業務委託費	¥ 500,000	¥ 560,000	¥ - 60,000	
	Jstage データ作成、公開費用	¥ 335,145	¥ -	¥ 335,145	長期未利用口座を利用
	雑費	¥ 5,000	¥ 5,000	¥ -	
	小計	¥ 962,145	¥ 733,000	¥ 229,145	
選挙費	選挙事務委託費	¥ 50,000	¥ -	¥ 50,000	
	小計	¥ 50,000	¥ -	¥ 50,000	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	
	ジオスクーリングネット運営費	¥ 80,000	¥ 60,000	¥ 20,000	値上がり
	表彰費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	表彰記念品代
	小計	¥ 310,000	¥ 290,000	¥ 20,000	
科目計		¥ 2,845,145	¥ 2,509,250	¥ 335,895	
次年度繰越額		¥ 3,353,365	¥ 3,751,708	¥ - 398,343	
合計		¥ 6,198,510	¥ 6,260,958	¥ - 62,448	

資料6

田瀬則雄 会員を名誉会員候補者とする推薦文

田瀬則雄 正会員は、本学会の前身であるハイドロロジー談話会において会員および編集委員として活躍され、以後、水文学研究会、日本水文科学会に至り、延べ6期15年にわたり評議員を務められました。また、2010年から本学会会長を務められ、本会の創成期から今日まで本会の発展に精力的に務められてきました。また、本学会のみならず、日本地下水学会評議員、環境科学会評議員、国際水文科学会 ICGW 幹事等、水文学に係わる内外の主要学協会において重責を務めてこられました。

研究面におかれましては、地下水汚染・土壌汚染における汚染源の同定や、自然浄化プロセスの解明、安定同位体を利用した水循環・物質循環プロセスの研究、湿地の水環境・浄化機能の研究、地下水流動系と水質形成機構の解明などについて、国内外のフィールドで数多くの研究成果を挙げられ、我が国における水文学の発展に多大な貢献をされてきました。

教育面におかれましては、1979年に筑波大学講師に着任以降、同助教授、同教授、茨城大学特任教授としてのべ36年間の長きにわたって奉職され、多くの研究者・技術者・教育者を指導・育成され、我が国における水文学の普及と人材育成に大きく貢献されました。

以上のように、田瀬則雄 正会員は本会の発展のみならず、我が国の水文学界にとっても、特に顕著な功績があったものと認め、本会の名誉会員として適格と判断し、名誉会員候補として推薦致します。

2018年度日本水文科学会名誉会員候補者推薦委員会

参考

田瀬則雄 会員 日本水文科学会 経歴

任期不明	ハイドロロジー談話会	編集委員
～1984年3月	水文学研究会	運営委員
1984年4月～1986年3月	水文学研究会	評議員
1986年4月～1988年3月	水文学研究会	会計委員（1987年以降水文科学会）
1988年4月～1990年3月	日本水文科学会	評議員 会計委員
1990年4月～1992年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員 会計委員長
1992年4月～1995年3月	日本水文科学会	評議員
1995年4月～1998年3月	日本水文科学会	評議員
2007年4月～2010年3月	日本水文科学会	評議員
2010年4月～2013年3月	日本水文科学会	会長

鈴木裕一 会員を名誉会員候補者とする推薦文

鈴木裕一 正会員は、本学会の前身であるハイドロロジー談話会から会員として活躍され、以後、水文学研究会、日本水文科学会に至るまで、評議員、常任委員長、企画委員長、会計委員長、選挙管理委員長などを務め、本学会の創成期の基盤確立とともに今日まで本学会の発展に精力的に取り組んでこられました。また、本学会のみならず、日本地理学会の選挙管理委員長、アメリカ地球物理学連合の西太平洋地区会議（WPGW）プログラム委員を歴任されるなど、水文学に係わる国内外の主要学会・協会において重責を務めてこられました。さらに、大学入試センター教科専門委員会委員、財団法人化学品検査協会モデル開発部会委員、地質調査所調査員、地下水資源開発集団研修コース運営委員、大学入試センター教科科目第二委員会委員、熊谷市水道事業審議会委員・会長、熊谷市下水道事業運営委員会委員・委員長、国際廃炉研究開発機構国内委員、産業技術総合研究所客員研究員などを歴任され、我が国の大学教育ならびに地下水・水資源政策を学術的に支えてこられました。

水文学教育の面においては、1972年東京教育大学理学部助手に着任以降、筑波大学地球科学系助手、同講師、地質調査所環境地質部水文地質課通商産業技官（併任）、立正大学地球環境科学部助教授、同教授として奉職されるとともに、立正大学大学院地球環境科学研究科長を歴任されています。この間、国内外のフィールドにおいて火山、扇状地、盆地などを対象とした地下水システム研究に専心されるとともに、東京大学、お茶の水女子大学など多くの大学において非常勤講師を務められ、水文学分野において多数の後学を養成してこられました。

以上のように、鈴木裕一 正会員は本学会の発展のみならず、我が国の水文学界にとって特に顕著な功績があったものと認め、本学会の名誉会員として適格と判断し、名誉会員候補として推薦致します。

2018年度日本水文科学会名誉会員候補者推薦委員会

参考

鈴木裕一 会員 日本水文科学会 経歴

1984年4月～1986年3月	水文学研究会	評議員
1986年4月～1988年3月	水文学研究会	企画委員（1987年以降水文科学会）
1988年4月～1992年3月	日本水文科学会	評議員 企画委員
1992年4月～1995年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員 会計委員長
1998年4月～2001年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員 企画委員長
2001年4月～2004年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員長
2004年4月～2007年3月	日本水文科学会	評議員 編集委員 選挙管理委員長
2007年4月～2010年3月	日本水文科学会	編集委員
2010年4月～2016年3月	日本水文科学会	評議員

会 告

「日本水文科学会誌」掲載論文の電子版の公開に伴う 著作権譲渡に関するお願い

日本水文科学会誌（以下「本誌」という）は、1967年に創刊された「ハイドロロジー」の後継誌であり、1997年に現在の名称に変更されて今日に至っております。50年以上の長きにわたり本誌を刊行できましたことは、ひとえに会員各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本誌に掲載された論文の電子版の一部（2007年の37巻以降）は、現在、科学技術振興機構（JST）のウェブサイト「J-Stage」上で公開されていますが、会員サービスの向上と本誌の社会的貢献を推進させるために創刊号からの公開準備を進めております。そのためには、掲載論文の著作権が日本水文科学会（以下「本会」という）に帰属していることが条件となるので、論文等の著者からその著作権の本会への譲渡が必要とされています。1996年以降は、投稿規定に論文等の著作権が本会に帰属することが定められておりますが、1995年以前に掲載された論文等については著作権の帰属が明確にされていない状態になっていました。

これらの事情から本誌に掲載された論文の電子版の公開を進めるにあたり、「ハイドロロジー」を含めた創刊号以来の著作についても、著作権は本会に帰属する事とさせていただきたく、本来であれば会員ならびに著者の皆様お一人ずつに「著作権譲渡の許諾手続き」を行うべきところではありますが、多大な事務作業と時間が必要となってしまいますので、この会告をもって著作権の譲渡をお願い申し上げる次第です。

万一、この件につきましてご承諾いただけない場合、あるいはご不明な点がある場合には、2018年9月30日までに本会事務局に電子メールまたは文書でお申し出ください。お申し出のない場合には、ご承諾いただけたものとし、公開準備が整い次第、論文等の電子版を掲載させていただきます。また、公開後の会員ならびに著者の皆様からの記事取り下げ要求についても柔軟に対応させていただく所存です。

以上、関係する皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年4月 日本水文科学会 会長 嶋田 純

【問合せ先】 〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター(株)国際文献社内

日本水文科学会事務局

E-mail: jahs-post@bunken.co.jp Fax: 03-3368-2822

2018年度日本水文科学会総会 議事録

日時：2018年10月13日(土) 16:35～17:10

場所：総合地球環境学研究所 講堂

開会に先立ち、定足数の確認を行い、出席20名、委任状72名、計92名の参加により、定足数（正会員の5分の1；2018年3月31日現在の会員数185に対し定足数37名以上）を満たしたことから、会の成立を確認した。

推薦により、小寺浩二正会員を議長に選出した。

1) 報告事項

議題（1）2017年度事業報告、（2）2017年度決算報告、（3）2017年度会計監査報告について、資料を基に事務局から説明を行い、了承された。

2) 審議事項

議題（1）2018年度事業計画、（2）2018年度予算案、（3）名誉会員候補者について、資料を基に事務局から提案を行い、質疑応答の後、承認された。

その他

- 1) 学会誌過去巻号の追加公開
- 2) 学会誌掲載論文の著作権譲渡のお願い
- 3) 長期未利用口座の出現について

上記1) から3) について一括して石井常任委員長より配布資料に基づいて報告された。著作権譲渡に関しては異議が出されなかったため、著作権はすべて学会に譲渡されたものとした。そして年度内に、学会誌未公開分のうち27～36巻をJ-Stage上に掲載予定であることが報告された。公開資金として長期未利用口座預金を充てることが報告された。